

授業科目 精神科リハビリテーション学

【担当教員名】 酒井 昭平	対象学年	3	対象学科	社会
	開講時期	前期	必修・選択	選択
	単位数	4	時間数	60

<概要>

精神保健福祉士は精神科リハビリテーション領域の有力な一翼を担っている。
精神科リハビリテーションの歴史・概念、範囲、構成各要素、実践の過程・観点・技術、関連とその連携、それらにおける精神保健福祉士の役割を学ぶ。

<学習目標>

1. 精神科リハビリテーションの概念（歴史、理念、意義、基本原則、現状）の修得
2. 精神科リハビリテーションの構成（対象、精神保健福祉士の役割、連携、施設など）の修得
3. 精神科リハビリテーションのプロセス（計画、アプローチ方法など）の修得
4. 医療機関におけるリハビリテーション（作業療法、レクリエーション療法、集団精神療法、認知行動療法と社会生活技能訓練、家族教育プログラム、デイケア、ナイトケアなど）の修得
5. 精神保健福祉士が行うリハビリテーション（医学的リハビリテーション、社会的リハビリテーション）の修得
6. 精神科リハビリテーションの総合化（地域リハビリテーション、職業リハビリテーションなど）の修得
7. 精神保健施策の展開について

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	オリエンテーション／精神科リハビリテーションの概念①		オリエンテーション／講義
2	精神科リハビリテーションの概念②		講義
3	精神科リハビリテーションの概念③		講義
4	精神科リハビリテーションの構成①		講義
5	精神科リハビリテーションの構成②		講義
6	精神科リハビリテーションのプロセス①		講義
7	精神科リハビリテーションのプロセス②		講義
8	医療機関におけるリハビリテーション①		講義
9	医療機関におけるリハビリテーション②		講義
10	医療機関におけるリハビリテーション③		講義
11	精神保健福祉士が行うリハビリテーション①		講義
12	精神保健福祉士が行うリハビリテーション②		講義
13	精神科リハビリテーションの統合化①		講義
14	精神科リハビリテーションの統合化②／精神保健福祉施策の展開①		講義

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格・その他＞
教科書 (必ず購入する書籍)	精神科リハビリテーション学	日本精神保健福祉士養成校協会編	中央法規	2007年1月 2500円
参考書	特になし			
その他の資料	適宜配布			
【評価方法】 出席状況、レポート、期末試験		【履修上の留意点】 ビデオ学習 演習、レポート提出を適宜とり入れる		